

「円小学校の海に関する学習活動への取組」

1. 学校名	龍郷町立円小学校
2. 学年・人数	全児童 6人（1・4・6年）
3. 日時・場所	令和7年6月14日（土）「円ブルーシー〔海岸清掃〕」 円海岸 令和7年7月16日（水）夢授業「貝の世界」講演〔キャリア教育〕 貝愛好家 舟貝 英伸さん 龍郷町立円小学校 音楽室
4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について	<p>円集落海岸（えんしゅうらくかいがん）</p> <p>※ 狭義の史跡ではないが、集落史に密接な自然環境として</p> <p>「冬の季節風ニシ（北風）がまともに当たり、海に面する山々の木々は低く斜面をほうように曲がり、その厳しさを物語っている…。」（龍郷町誌より）</p> <p>龍郷町内でも最も冬の季節風にさらされている集落で、かつて海岸沿いの家には、強風時は波が打ち寄せてきたとのこと。</p> <p>現在は県道沿いとなっているが、海沿いであった家々の一部には風と波をさえぎる石積みの垣を今でも見ることができる。</p> <p>昔、「円の人材はマネ上手」といわれていた。古くは沖縄・糸満の漁師たちが一夏を円の浜辺で生活していた時に、彼らの網漁を吸収してフーアミ漁（大網漁）が定着したことからのようである。他にも、イショメガネ（水中メガネ）を古老が改良して漁に使用していたことなども由縁の一つとなっている。</p> <p>また、春分の日と秋分の日の前後に海岸から望める「かがんばなトンネル」に沈む夕日は「龍の目」と例えられ、観光スポットとして注目を集める。「かがんばな」（鏡崎）は古来、神にまつわる要所であったことから、道路建設時の掘削については、集落から消失への大きな反対があり、奄美大島最短のトンネルとして平成10年に整備された。</p>
5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等	<p>【円ブルーシー〔海岸清掃〕】</p> <ul style="list-style-type: none"> 海上保安部の支援のもと、保護者・集落民も協力して実施している。 平成16年から続く実績により、令和6年度国土交通省長官表彰を受けた。 <p>【夢授業「貝の世界」〔キャリア教育〕】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築業をされながら貝愛好家の舟貝 英伸さんに、自主講演として、その種類や生態、そこから広がる豊かな生き方について話していただいた。
6. 取組の様子（研究発表等）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>円ブルーシー〔海岸清掃〕</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>貝殻の標本を基にした講演</p> </div> </div>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<ul style="list-style-type: none"> 大好きな集落の海で、美化作業をしたり、広い海の底で生きている貝について学んだりすることで、海のすばらしさを深く感じる事ができた。 荒波や強風により、海岸の漂着ごみが多いが、その清掃に、子どもたちも、年少時から取り組むことで、自然保護の意識や郷土愛が育まれる。 極小規模校において、外部の専門の方や集落民との交流は有意義である。